

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣研究報告書

2013年 2月 24日

派遣者氏名（専門分野）	中村 武司（西洋史学）
-------------	-------------

下記のとおり報告します。

記

研究テーマ	19世紀前半のロンドンの政治文化とラディカリズムにかんする研究調査
-------	-----------------------------------

派遣期間

2011年 7月 23日 ～ 2011年 9月 24日

訪問研究機関	国	都市	訪問機関	受入研究者
	英国	ロンドン	ロンドン大学歴史学研究所	
	英国	ロンドン	英国図書館	
	英国	ロンドン	英国図書館分館・新聞図書館	

派遣先で実施した研究内容

本研究は、18世紀後半から19世紀前半にかけてのイギリスの首都ロンドンにおける選挙と政治文化のありようを再考すべく、ロンドンを構成する選挙区＝都市共同体のひとつ、サザク（Southwark）と、改革派の議員として同選挙区を代表したサー・ロバート・ウィルソン将軍（1777-1849年）の事例を対象として、ロンドン大学歴史学研究所、英国図書館、同図書館分館新聞図書館で研究調査を実施した。

本研究でとりあげたサザク選挙区とは、ロンドン（the City of London）、ウェストミンスタのような巨大都市選挙区ではないものの、1820年代から1830年代にかけて、イギリスの国政選挙では滅多に起こらないとされる競争選挙（contest）が連続して発生した。まず本研究では、1820年から1832年にかけての各総選挙の候補者、投票数、選挙の経緯を史料から調査したのち、サザク選挙が、地元の利害やロンドンの影響を受ける一方で、議会改革運動やラディカリズムの展開というよりナショナルな動向にも作用されていたことを確認した。

続いて本研究では、サザク選挙区を代表したサー・ロバート・ウィルソン（Sir Robert Wilson, 1777-1849）に注目して調査を実施した。ウィルソンはナポレオン戦争期に名声を馳せたイギリス軍人で、伝記も2点刊行されているものの、従来の政治史・選挙史研究では等閑視されてきた人物である。しかし本研究では、彼がラディカルな議会改革運動に関与していたことを留意して、サザクの選挙集会や政治集会、議会でのウィルソンの発言や行動を、英国図書館所蔵の未刊行手稿史料や同時代の新聞・雑誌、選挙パンフレットを収集・調査することで、再構成することを試みた。そのうえで、ウィルソンがヨーロッパやラテンアメリカ諸国における環大西洋革命の支持者であったこと、また他国の革命・独立運動への軍事的・経済的支援を禁じた「外国軍入隊禁止法（The Foreign Enlistment Act）」（1819年）に強く反対していたことを明らかにした。

最後に本研究では、この「外国軍入隊禁止法」の成立の経緯・背景、議会における法案成立をめぐる論争、それにたいする世論の動向について調査を進めた。従来の研究では、ラテンアメリカ諸国の「非

公式帝国」化から、イギリスの同地への支援・支持をア・プリオリに想定する傾向にあった。だが、本研究の調査から、イギリス政府は公式にはラテンアメリカの独立運動の支援を禁じていたこと、またこの法案をめぐるのはホイッグ、ラディカル問わず、野党の強い反対がみられたことが確認された。さらには「自由」の概念を中心として、環大西洋革命が、イギリス本国における改革運動を促したという見解をもつにいたった。

研究の当初の目的・計画の達成状況、明らかにできた成果

報告者は、科学研究費補助金（若手研究（B））による研究「近代イギリスにおける選挙と政治参加の文化史研究——ロンドンを中心に」において、ロンドンとウェストミンスターを対象に、首都の選挙・民衆政治の複合性・多様性について考察を進めていた。本研究は、この科研費による研究を補完すると同時にその射程を広げるべく実施したが、ロンドン、ウェストミンスター、サザクという首都ロンドンを構成する都市選挙区の共通点と相違点がうきぼりにされた。さらに本研究により、19世紀前半のイギリスのラディカリズムにおける首都の選挙区の政治文化の重要性を認識するとともに、当時の改革運動が、大陸ヨーロッパやラテンアメリカ諸国で展開していた革命・独立運動と相互の影響にあるという理解をえることになった。

派遣後の研究発表の予定

1. 本研究の成果をふまえて、報告者は科学研究費補助金（若手研究（B）・研究題目「19世紀前半イギリスにおける改革運動と環大西洋革命」）を申請して、さらなる研究の充実をはかる予定である。
2. また、本研究でえられた成果は、日本西洋史学会大会で報告するほか、雑誌『西洋史学』に論文を投稿することで公刊する予定である。